

# 市民文芸

## 短歌

阿南市文化祭秋季短歌大会選

佳作 兼任ゆき子

干し上げし毒だみ刻む真剣に不老長寿のお茶にしあれば

佳作 清 善恵

朝夕に秋の気配の高まりて食欲そそるすだちの薫り

佳作 西條 悦子

灯心の揺らげば母の颯ち出でて似たる猫背は吾の怠慢と説く

佳作 福崎 孝子

琵琶奏者の「まりさん」悼む暑き夏「耳無し芳一」聞く術もなし

佳作 森岡 圭子

立て看に怒り肩の字の並びたるキャンパス歩む気負い遙けし

佳作 佐野 幸子

夫あらば買えよと言ってくれたろにバッグを前に友のつぶやく

佳作 高尾 久枝

酷暑ゆえ実り少なき石高の収穫済みて夏は終りぬ

## 俳句

阿南市俳句連合会選

ういろいろを分ける母待つ雛納

繁木 良子

藪椿備前の壺に活けにけり

瀬藤 豊子

テープカットに幼を加へ梅開き

陶久 晴義

橋揺らぐ県外ナンバー山笑う

工藤千鶴子

老いの目に沁みる朝日や山笑う

西條 佳恵

軒の下雛さんざめし無人の家

張本 雅宣

七人目の誕生知らず弥生尽

田上 隆敏

楽市をめぐり巡りて山葵漬け

萩原 陽子

縄文の辰砂の朱色春動く

車田マサ子

望郷の羽撃き勇む春の鴨

奥田 蒼朗

## 川柳

阿南川柳会 鈴木レイ子選

阿波弁のぬくもり抱いた内緒ごと

二階千代美

正面は何時も美人の居る処

野口 吾朗

紙屑と思ひ捨てたら諭吉さん

多田紀久代

居るだけで緑の風が吹く若さ  
自販機も釣り銭までは温めず  
何時の日も心に秘めている希望

持木 寿栄  
高木 旬笑  
西田 修身

## 一般応募

ダイヤ婚いくつも越えた山と谷  
ピカピカに鏡みがくも顔のシミ  
蝶になる夢捨てきれぬカタツムリ  
プラごみを魚が誤食し人が食べ

島尾美津子  
武田 敏子  
仁井 信子  
吉田 當代

## 漢詩

阿南漢詩研究会・青松吟社選

### 雨中看梅

細雨梅林來往稀  
吟朋風雅泥春衣  
一詩無就徘徊久  
只看橫斜眼福宜

細雨の梅林 來往稀なり  
吟朋の風雅 春衣を泥らす  
一詩就る無く 徘徊久しく  
只だ看る横斜 眼福の宜しきを

荒瀬左知子

### 牡丹建仁寺に咲く

建寺榮西茶道祖  
千年祠廟儼尚存  
牡丹含笑芳庭裏  
幽寂境中忘塵煩

建寺の榮西 茶道の祖  
千年の祠廟 儼として尚お存す  
牡丹笑を含む 芳庭の裏  
幽寂たる境中 塵煩を忘る

池田 行子

### 初夏田園散策

薰風習習拂襟爽  
新緑萋萋促歩輕  
白鷺悠然水田啄  
那邊裂帛杜鵑聲

薰風 習習 襟を払って爽やかに  
新緑 萋萋 歩を促して輕し  
白鷺 悠然として 水田に啄み  
那邊ぞ 裂帛 杜鵑の声

折野 博子